

教員研究紹介

吾妻 知美

研究分野：看護倫理・管理学

研究活動：

論文

- 1) 山岡愛, 吾妻知美 (2018) : 医療的ケアを継続しながら在宅療養へ移行した先天異常のある子どもの母親のレジリエンス, 38 : 151-159.
- 2) 辻尾有利子, 中村尚美, 安田美緒, 服部美景, 吉岡とも子, 吾妻知美 (2018) 「看護倫理ルーブリック」の導入と活用, ナースマネージャー, 20 (12), 17-27.
- 3) 大賀知津子, 吾妻知美 (2019) : 中堅看護師のキャリア・プラトーの様相, 京都府立医科大学看護学科紀要, 28 : 7-16.

学会発表

(国際学会)

- 4) Kimura, C., Sonobe, M., Ikeda, M., Azuma, T. (2018) Interests of the fourth graders in a primary school through collaborative sexuality and relationships education by midwifely and school health-Examination of the differences between boys and girls-, The 2nd Symposium on Health Informatics and Nursing Education, April, Hiroshima.
- 5) Oga, C., Watanabe, N., Azuma, T. (2019) Aspects of mid-career nurse's career plateaus, 22nd EAFONS 2019, January, Singapore.

(国内学会)

- 6) 安田美緒, 吾妻知美 (2018) : A 大学病院の周産期診療部に所属する看護師が困難と感じる倫理的問題, 第20回日本母性看護学会学術集会, 越谷市, 6月.
- 7) 大賀知津子, 吾妻知美 (2018) : 長期ローテーション研修が中堅看護師のキャリア発達に与える影響-研究後のインタビューの内容分析-, 第22回日本看護管理学会学術集会, 神戸市, 8月.
- 8) 大賀知津子, 吾妻知美 (2018) : 長期ローテーション研修が中堅看護師のキャリア発達に与える影響-成長の実感を表す感情浮沈図の分析を手がかりに-, 第22回日本看護管理学会学術集会, 神戸市, 8月.
- 9) 安田美緒, 辻尾有利子, 服部美景, 吉岡とも子, 中村尚美, 吾妻知美 (2018) : 臨床看護師を対象とした「看護倫理ルーブリック」開発の試み, 第22回日本看護管理学会学術集会, 神戸市, 8月.
- 10) 服部美景, 辻尾有利子, 安田美緒, 吉岡とも子, 中村尚美, 吾妻知美 (2018) 専門看護師による副看護師長を対象とした看護倫理研修の取り組み-3年間の継続教育による倫理的行動の変化-, 第22回日本看護管理学会学術集会, 神戸市, 8月.
- 11) 瀬戸山晃一, 吾妻知美, 今井浩二郎, 赤塚京子, 福家祐亮 (2018) ワークショップ, 研究倫理教育の現状と課題-効果的な研究倫理教育の方法論とその評価尺度の検討-, 第37回医学哲学・倫理学会大会, 札幌市, 10月
- 12) 松山琴音, 寺良向聡, 今井浩二郎, 峯村優一, 平出喜代恵, 福家祐亮, 吾妻知美, 瀬戸山晃一 (2019) : 臨床試験データの質確保を目指したモニタリング教育システムの構築, 日本臨床試験学会第10回学術集会総会, 東京, 1月.
- 13) 今井浩二郎, 福家祐亮, 赤塚京子, 峯村優一, 平出喜代恵, 松山琴音, 吾妻知美, 寺良向聡, 瀬戸山晃一 (2019) : 認定再生医療医等委員会委員に対する教材の提供, 第4回研究倫理を語る会, 名古屋市, 2月.
- 14) 峯村優一, 平出喜代恵, 福家祐亮, 赤塚京子, 松山琴音, 吾妻知美, 瀬戸山晃一 (2019) : 教育機能と評価尺度を備えた研究倫理教育の履修管理システムの開発研究, 第4回研究倫理を語る会, 名古屋市, 2月.

岩破 一博

研究分野：産婦人科感染症

研究活動：

著書

- 1) 岩破一博 (2019)：帯下、今日の処方，総編集者浦部晶夫，島田和幸，川合眞一．691-694，東京：南江堂．
- 2) 岩破一博 (2019)：外陰炎，膣炎，外陰掻痒症、今日の処方，総編集者浦部晶夫，島田和幸，川合眞一．695-698，東京：南江堂．
- 3) 岩破一博 (2019)：外陰潰瘍、今日の処方，総編集者浦部晶夫，島田和幸，川合眞一．698-700，東京：南江堂．
- 4) 岩破一博 (2019)：産科感染症の管理と治療 STD 産科婦人科疾患、最新治療 2019-2021，編集吉川史隆，平松祐司，大須賀穰．127-133，東京：南江堂．

論文

- 5) 岩破一博 (2018)：産婦人科感染症のフォーラム，日本産婦人科感染症学会誌 2：13-18．
- 6) 岩破一博 (2018)：産婦人科外来パーフェクトガイド いまのトレンドを逃さずチェック！ クラミジア感染症．臨婦産 72：368-371．
- 7) 岩破一博 (2018)：産婦人科外来パーフェクトガイド いまのトレンドを逃さずチェック！ 淋菌感染症．臨婦産 72：380-384．
- 8) 深澤一雄，川名敬，高松潔，岩破一博，大槻克文，野口靖之 (2018)：特集 感染症に強くなる 日本における母子感染の実態とその対策．産科と婦人科 85：893-897．
- 9) 岩破一博 (2018)：特集 思春期にまつわる最近の話題 8. 思春期における性感染症．産科と婦人科 85：1459-1464．
- 10) 岩破一博 (2019)：特集：性感染症—実態と問題点を探る—III. 女性における性感染症の問題．若年女性における性感染症の増加と対策．日本臨牀 77：301-306．
- 11) 岩破一博 (2019)：特集：子宮頸部の生理と病理．子宮腔部の病理．子宮腔部感染症．HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY. 26：27-32．
- 12) 岩破一博 (2019)：抗菌薬使用の手引き，妊婦・授乳婦への抗菌薬投与方法と注意点．耳鼻咽喉科・頭頸部外科 91：454-459．
- 13) Kawaguchi, R., Matumoto, K., Akira, S., Ishitani, K., Iwasaku, K. (2019)：Guideline for office gynecology in Japan: Japan Society of Obstetrics and Gynecology (JSOG) and Japan Association of Obstetricians and Gynecologists (JAOG) 2017 edition. J. Obstet. Gynaecol. Res.：1-21.

その他

- 14) 岩破一博 (2019)：産婦人科からみた最近の性感染症の話題，第135回静岡県泌尿器科医会講演会．静岡市，2月．

岩脇 陽子

研究分野：成人看護学，がん看護学，看護教育学

研究活動：

論文、報告

- 1) Yamada C, Iwawaki Y, Harada K, Fukui M, Morimoto M, Yamanaka R (2018): Frequency and risk factors for subsyndromal delirium in an intensive care unit. Intensive Crit Care Nurs 47:15-22.
- 2) Yamamoto, Y., Harada, H., Murota, M., Takishita, Y., Iwawaki, Y., Matsuoka, T., Nishiuchi, Y., Ibayashi, T., Matsumoto, K. (2018): Correlation between Alcohol-Based Handrub Consumption and Adherence to Hand Hygiene Protocols in Individual Nurses, International Archives of Nursing and Health Care, 4:111.
- 3) 山本容子，原田清美，滝下幸栄，室田昌子，西内由香里，岩脇陽子 (2019):The Health Action Process Approach (HAPA) 理論を用いた新人看護師の手指衛生認知尺度の開発，日本環境感染学会誌，34 (1)：55-61.
- 4) 越智幾世，岩脇陽子 (2018)：CCRTを受けている頭頸部がん患者が口腔ケアを継続するための関連要因，京都府立医科大学看護学科紀要，28：17-24.
- 5) 室田昌子，岩脇陽子，滝下幸栄，山本容子，光本かおり，中村順子，松岡知子 (2018)：退院支援事例をアセスメントする学習を取り入れた成人看護学実習の効果，京都府立医科大学看護学科紀要，28：43-48.

- 6) 山本裕子, 滝下幸栄, 岩脇陽子 (2018): 看護専門学校教員の生涯学習に関する文献検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 28: 49-54.
- 7) 吉岡さおり, 岩脇陽子 (2018): 看護学教育の可能性 - 高度実践看護師としてのがん看護専門看護師教育の展望, 京都府立医科大学雑誌, 127 (12): 781-789.
- 8) 山下智穂, 京田望, 中村梓, 伊藤智代, 岩脇陽子, 藤岡数記, 岡部佳代子, 廣山晴美 (2019): ステロイド製剤の内服治療を受けている膠原病患者の症状とステロイド製剤に対するイメージ, 京都府立医科大学附属病院看護部看護研究論文集, 2017: 43-47.
- 9) 岩脇陽子 (2019): 在宅ケア推進に向けた退院調整能力実践プログラムの開発と有用性の検証, 平成 27 ~ 30 年度科学研究費研究成果報告書: 1-53.

学会発表

(国内学会)

- 10) 井林寿恵, 岩脇陽子, 室田昌子, 森本昌史 (2018): 腎移植後患者の QOL と移植後ストレスとの関連, 第 38 回日本看護科学学会学術集会, 愛媛, 12 月.
- 11) 塚久美子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 越智幾世, 河野留美, 金沢元洪, 石川剛, 田口哲也, 山中龍也 (2018): 外来化学療法を受けているがん患者の就労形態別の気付きとストレスコーピング, 第 56 回日本癌治療学会学術集会抄録集, 横浜, 10 月.

江本 厚子

研究分野: 老年看護学、在宅看護学

研究活動:

論文

- 1) 高橋達夫, 大橋純子, 江本厚子 (2018): 特別養護老人ホームにおける看護職の夜間配置が介護職の精神的健康に与える関連因子の検討, 京都府立医科大学看護学科紀要第 28 巻, 25-31.

北島 謙吾

研究分野: 精神看護学

研究活動:

学会発表

- 1) 平野杏奈, 北島謙吾 (2018): 集中治療室の看護師における家族看護の経験が看護実践にもたらす影響, 日本看護研究学会第 44 回学術集会、熊本市, 8 月.
- 2) 占部美恵, 福田弘子, 北島謙吾 (2018): ユマニチュードに関する海外・国内における研究の動向と課題, 日本看護研究学会第 44 回学術集会、熊本市, 8 月.
- 3) 福田弘子, 占部美恵, 北島謙吾 (2018): ユマニチュードの実践が認知症患者・実施者にもたらす効果についての文献検討, 日本看護研究学会第 44 回学術集会、熊本市, 8 月.

その他 (講演等)

- 4) 北島謙吾 (2018): 精神 (心理) 療法について特別講義 (宝塚大学看護学部), 6 月.
- 5) 北島謙吾 (2018): 滋賀医科大学大学院修士論文発表会講評, 9 月.

關戸 啓子

研究分野: 基礎看護学

研究活動:

学会発表

(国際学会)

- 1) Harada, K., Sekido, K. (2018): Actual conditions of cachectic cancer patients who are receiving outpatient chemotherapy in Japan, MASCC/ISOO Annual Meeting on Supportive Care in cancer, Vienna Austria, Jun.

- 2) Sekido, K., Harada, K., Tsutsumi, K., Uemura, S., Takeichi, H., Sekido, H. (2018) : A literature review on support for eating habits of patients with cancer in Japan, MASCC/ISOO Annual Meeting on Supportive Care in cancer, Vienna Austria, Jun.
 - 3) Sekido, K., Harada, K. (2018) : Associations between nursing students' dietary habits and their awareness of patients who need feeding assistance after role-playing activity, 2nd International Seminar · Workshop“Technological Competency as Caring in the Health Sciences”, Tokushima Japan, Aug.
 - 4) Sekido, K., Harada, K. (2018) : Associations between nursing students' dietary habits and awareness of patients after practical training on feeding assistance, 2nd International Seminar · Workshop“Technological Competency as Caring in the Health Sciences”, Tokushima Japan, Aug.
 - 5) Haba, C., Sekido, K. (2018) : Current situations and challenges of lifelong education regarding nursing research for scrub operating room nurses in Japan, 2nd International Seminar · Workshop“Technological Competency as Caring in the Health Sciences”, Tokushima Japan, Aug.
 - 6) Iwamoto, M., Sekido, K. (2018): Current situations and challenges regarding nurse educators' awareness of nursing students in Japan, 2nd International Seminar · Workshop“Technological Competency as Caring in the Health Sciences”, Tokushima Japan, Aug.
 - 7) Haba, C., Sekido, K., Iwamoto, M. (2019):Actual condition of operating room nursing education in Japanese nursing school, The 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) conference, Singapore, Jan.
 - 8) Haba, C., Sekido, K., Iwamoto, M. (2019):Awareness of scrub nursing in operating room nurses in Japan, The 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) conference, Singapore, Jan.
 - 9) Tsutsumi, K., Sekido, K., Kondo, F., Uemura, S., Nasu, S. (2019):Teaching experiences of nurses in charge of instruction in adult nursing clinical practicum during practical training in Japan, The 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) conference, Singapore, Jan.
 - 10) Harada, K., Sekido, K. (2019): Factors that affect low serum zinc levels in cancer patients receiving outpatient chemotherapy, The 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) conference, Singapore, Jan.
 - 11) Uemura, S., Sekido, K., Tsutsumi, K. (2019): Care status and recognition of family caregivers at home in Japan – differences by gender-, The 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) conference, Singapore, Jan.
- (国内学会)
- 12) 原田清美, 關戸啓子 (2018) : 外来化学療法中のがん患者が抱える味覚障害に影響する要因, 日本看護研究学会第44回学術集会, 熊本, 8月.
 - 13) 原田清美, 山本容子, 關戸啓子 (2018) : 看護学生の口腔ケアで大切にすべきことへの認識の変化－演習実施前後を比較して－, 日本看護学教育学会第28回学術集会, 神奈川, 8月.
 - 14) 羽場千佐子, 關戸啓子 (2018) : 手術室看護師の器械出し看護に関する自己学習時間の実態, 第38回日本看護科学学会学術集会, 愛媛, 12月.
 - 15) 原田清美, 關戸啓子 (2018) : 外来化学療法中のがん患者における悪液質の現状 - 疾患の特徴を踏まえた食事指導の必要性 -, 第38回日本看護科学学会学術集会, 愛媛, 12月.
 - 16) 關戸啓子, 堤かおり, 植村小夜子 (2018) : 看護学臨地実習における学生と実習指導者が抱く困難に関する海外文献の検討, 第38回日本看護科学学会学術集会, 愛媛, 12月.
 - 17) 植村小夜子, 關戸啓子, 堤かおり (2018) : 在宅で介護している家族介護者の介護状況と介護への認識—性別による違い—, 第38回日本看護科学学会学術集会, 愛媛, 12月.
 - 18) 阿部真理, 關戸啓子 (2018) : 卒後2年目看護師の看護実践における成長のプロセス, 第38回日本看護科学学会学術集会, 愛媛, 12月.
 - 19) 堤かおり, 關戸啓子, 近藤ふさえ, 植村小夜子, 那須さとみ (2018) : 中規模病院の臨地実習指導者が抱える成人看護学実習指導上の困難, 第38回日本看護科学学会学術集会, 愛媛, 12月.
 - 20) 原田清美, 關戸啓子 (2018) : 外来化学療法中の消化器がん患者における栄養状態の実態調査－再発・進行期にある患者に焦点をあてて－, 第33回日本がん看護学会学術集会, 福岡, 2月.

- 21) 堤かおり, 關戸啓子, 那須さとみ (2019): ホスピス・緩和ケア病棟看護師が経験年数によって熟練する観察技術の内容, 第25回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 in とかち, 北海道, 2月.
- 22) 三谷理恵, 關戸啓子, 澁谷幸, 香川秀太 (2019): 統合看護実習教育に関する実態調査 (第1報) —統合看護実習の実習目標について—, 第29回日本医学看護学教育学会学術学会, 鳥取, 3月.
- 23) 關戸啓子, 三谷理恵, 澁谷幸, 香川秀太 (2019): 統合看護実習教育に関する実態調査 (第2報) —統合看護実習の実習方法について—, 第29回日本医学看護学教育学会学術学会, 鳥取, 3月.

その他

- 24) 關戸啓子 (2018): 看護学教育の質保証とコアカリキュラム, 京都府立医科大学雑誌, 127 (12): 767-772.

星野 明子

研究分野: 地域看護学、公衆衛生看護学

研究活動:

論文

- 1) Katsura, T., Abe, N., Komata, M., Ogura, M., Ishikawa, N., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K., Yokoyama, E., Hara, M. (2018): The relationship between the houseboundness and frailty of community-dwelling elderly persons. *J Rural Med.* 13 (2):141-150.
- 2) 中川智子, 星野明子, 志澤美保, 桂 敏樹 (2018): 幼児を育てる母親の養育態度の特徴と育児感情との関連, 小児保健研究, 77: 469-475.
- 3) 志澤美保, 義村さや香, 趙朔, 十一元三, 星野明子, 桂 敏樹 (2018): 幼児期の食行動に関連する多要因分析—自閉症的傾向、感覚特性および育児環境の実態—, 日本公衆衛生雑誌, 65: 411-420.
- 4) 桂 敏樹, 古俣理子, 小倉真衣, 石川信仁, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗 (2018): 地域閉じこもり高齢者におけるソーシャルキャピタルとフレイルとの関連, 日本農村医学会雑誌, 67, 457-468.
- 5) Fujimoto, M., Katsura, T., Shizawa, M., Hoshino, A., Usui, K., Yokoyama, E., Hara, M. (2018): A Cohort Study on Elderly Individuals Newly Certified to Require Long-term Care: Comparison of Rates of Care-needs Certifications between Basic Checklist Respondents/Specific Health Examinees and Non-respondents/Non-examinees of 37,000 Elderlies in a City, *Journal of Rural Medicine*, 13: 7-10.

学会発表

(国際学会)

- 6) Ishikawa, N., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K., Katsura, T. (2018): Active lifestyles related to well-being of elderly Japanese in a healthy city aiming at successful aging, The 20th Congress of the International Association of Rural Health and Medicine, Tokyo, Japan, Nov.
- 7) Sato-Komata, M., Hoshino, A., Ogura, M., Ishikawa, N., Katsura, T. (2018): Attitudes toward death and preparations for death among the community dwelling elderly in Japan, The 20th Congress of the International Association of Rural Health and Medicine, Tokyo, Japan, Nov.
- 8) Ogura, M., Katsura, T., Sato-Komata, M., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K. (2018): Correlation between social isolation and physical, mental, social frailty of community-resided elderlies in a rural community, Japan, The Congress of the International Association of Rural Health and Medicine, Tokyo, Japan, Nov.
- 9) Katsura, T., Ogura, M., Sato-Komata, M., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K. (2018): Health promotion factors related to QOL of community-resided elderlies in a rural community, Japan, The Congress of the International Association of Rural Health and Medicine, Tokyo, Japan, Nov.
- 10) Okutsu, A., Ohta, T., Hoshino, A., Katsura, T. (2018): Working Conditions of Hospital Nurses: A Comparative Study between Mongolian and Japanese Nurses, 7th International Conference on Public Health and Nursing, Singapore, March.
- 11) Katsura, T., Hoshino, A., Okutsu, A. (2018): Social isolation of middle-aged and old-aged citizens resided in super-aging area of Kyoto, Japan, 7th International Conference on Public Health and Nursing, Singapore, March.

- 12) Hoshino, A., Katsura, T., Okutsu, A. (2018):Relation between life satisfaction and social capital in super-aging society of urban district, 7Th International Conference on Public Health and Nursing, Singapore, March.
(国内学会)
- 13) 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗, 石川信仁, 玉井公子, 鬼頭敦子, 小倉真衣, 桂 敏樹 (2018): 都市部高齢化 A 小学校区における孤独感とソーシャルキャピタルの検討, 第 77 回日本公衆衛生学会, 郡山, 10 月 .
- 14) 志澤美保, 義村さや香, 趙 朔, 十一元三, 星野明子, 桂 敏樹 (2018): 幼児期の子供の食行動と養育環境との関連, 第 77 回日本公衆衛生学会, 郡山, 10 月 .
- 15) 桂 敏樹, 小倉真衣, 古俣理子, 石川信仁, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗 (2018): 中山間地在住高齢者の QOL に関連するフレイル (2) - マッチドペアによる訪問調査の分析, 第 77 回日本公衆衛生学会, 郡山, 10 月 .
- 16) 小倉真衣, 桂 敏樹, 古俣理子, 石川信仁, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗 (2018): 中山間地在住高齢者の QOL に関連するフレイル (1) - 社会的孤立の類型化と関連要因, 第 77 回日本公衆衛生学会, 郡山, 10 月 .
- 17) 石川信仁, 小倉真衣, 古俣理子, 臼井香苗, 志澤美保, 星野明子, 桂 敏樹 (2018): 人口が増加する都市の高齢期・青壮年期住民のウェルビーイング増進要因の縦断的検討, 第 77 回日本公衆衛生学会, 郡山, 10 月 .
- 18) 玉井公子, 志澤美保, 星野明子, 桂 敏樹 (2018): 行政における中堅前期・後期・管理期保健師の職務満足に関連する要因, 第 77 回日本公衆衛生学会, 郡山,
- 19) 石川信仁, 小倉真衣, 古俣理子, 臼井香苗, 志澤美保, 星野明子, 桂 敏樹 (2018): 人口が増加する都市の老年期及び青壮年期住民のウェルビーイング増進要因の縦断的検討, 第 77 回日本公衆衛生学会, 郡山, 10 月 .
- 20) 石川信仁, 桂 敏樹, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗 (2018): 健康な街づくりにおける青・壮年期住民のウェルビーイングとライフスタイル及びソーシャルキャピタル の関連, 第 67 回日本農村医学会総会, 東京, 10 月 .
- 21) 桂 敏樹, 小倉真衣, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗 (2018): 中山間地域高齢住民における QOL 及びフレイル に関する研究 - 社会的孤立者と非社会的孤立者の比較 -, 第 67 回日本農村医学会総会, 東京, 10 月 .
- 22) 小倉真衣, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗, 桂 敏樹 (2018): 中山間地域在住高齢社会的孤立者の人付き合いの 選択の違いによる特徴 - コレスポネンス分析を用いた検討 -, 第 67 回日本農村医学会総会, 東京, 10 月 .
- 23) 古俣理子, 星野明子, 桂 敏樹 (2018): 地域在住高齢者の死の準備行動に関連する要因, 第 77 回日本公衆衛生学会, 郡山, 10 月 .
- 24) 臼井香苗, 星野明子, 桂 敏樹 (2018): 公営住宅における高齢者のコミュニティ・カフェの利用と Well-being, 第 77 回日本公衆衛生学会, 郡山, 10 月
- 25) 永石早季子, 極山貴子, 川口秀子, 小嶋 操, 勝山久美子, 竹原智美, 千葉圭子, 入田明子, 池田裕子, 斎田晃子, 星野明子, 桂 敏樹 (2018): 京都府新入期保健師の到達度 - 人材育成の追跡の評価と今後の展望 -, 第 77 回日本公衆衛生学会, 郡山, 10 月 .

松岡 知子

研究分野：母性看護学・助産学

研究活動：

論文

- 1) 室田昌子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 光本かおり, 中村順子, 松岡知子 (2019) : 退院支援事例をアセスメントする学習を取り入れた成人看護学実習の効果, 京都府立医科大学看護学科紀要, 28 (1), 43-48.

森本 昌史

研究分野：小児科学、小児神経学、てんかん学、小児保健学

研究活動：

論文

- 1) Matsui F, Hecht P, Yoshimoto K, Watanabe Y, Morimoto M, Fritsche K, Will M, Beversdorf D. (2018): DHA Mitigates Autistic Behaviors Accompanied by Dopaminergic Change in a Gene/Prenatal Stress Mouse Model. Neuroscience, 371: 407-419.

- 2) Yoshida M, Nakashima M, Okanishi T, Kanai S, Fujimoto A, Itomi K, Morimoto M, Saitsu H, Kato M, Matsumoto N, Chiyonobu T. (2018): Identification of novel BCL11A variants in patients with epileptic encephalopathy: expanding the phenotypic spectrum. *Clin Genet*, 93: 368-373.
- 3) Tozawa T, Nishimura A, Ueno T, Kaneda D, Miyanomae Y, Chiyonobu T, Morimoto M, Hosoi H. (2018): A 5-Year Follow-Up of Triple-Seronegative Myasthenia Gravis Successfully Treated with Tacrolimus Therapy. *Neuropediatrics*, 49: 200-203.
- 4) Tsuchida N, Nakashima M, Kato M, Heyman E, Inui T, Haginoya K, Watanabe S, Chiyonobu T, Morimoto M, Ohta M, Kumakura A, Kubota M, Kumagai Y, Hamano S, Lourenco CM, Yahaya NA, Ch'ng GS, Ngu LN, Fattal-Valevski A, Hubshman MW, Orenstein N, Marom D, Cohen L, Goldberg-Stern H, Uchiyama Y, Imagawa E, Mizuguchi T, Takata A, Miyake N, Nakajima H, Saitsu H, Miyatake S, Matsumoto N. (2018): Detection of copy number variations in epilepsy using exome data. *Clin Genet*, 93: 577-587.
- 5) Yamada C, Iwawaki Y, Harada K, Fukui M, Morimoto M, Yamanaka R. (2018): Frequency and risk factors for subsyndromal delirium in an intensive care unit. *Intensive Crit Care Nurs*, 47: 15-22.
- 6) Hasegawa T, Yamada K, Tozawa T, Chiyonobu T, Tokuda S, Nishimura A, Hosoi H, Morimoto M. (2018): Cerebellar peduncle injury predicts motor impairments in preterm infants: A quantitative tractography study at term-equivalent age. *Brain Dev*, 40: 743-752.
- 7) 久保 裕、松尾憲典、伊藤育世、藤木 敦、上原久輝、高岡正明、近江園善一、森本昌史、石丸庸介。(2018): ムンプスに可逆性脳梁膨大部病変を呈する軽症脳炎・脳症 (MERS) を発症し、後に小脳炎を合併した7歳女児例。日本小児救急医学会雑誌 . 17: 487-491.

学会発表

(国内学会)

- 8) 戸澤雄紀, 千代延友裕, 長谷川龍志, 吉田路子, 高井あかり, 阪上智俊, 全 有耳, 森田高史, 森本昌史 (2018) 3歳以下でヌシネルセンを開始した脊髄性筋萎縮症1型、2型の治療経過, 第60回日本小児神経学会学術集会, 千葉, 6月.
- 9) 森本昌史, 千代延友裕, 戸澤雄紀, 長谷川龍志, 阪上智俊, 高井あかり, 一瀬栄佑, 全 有耳, 吉田路子, 西村陽 (2018) 小児科での慢性期てんかん患者の診療における問題点, 第52回日本てんかん学会学術集会, 横浜, 10月.
- 10) 井林寿恵, 岩脇陽子, 室田昌子, 森本昌史 (2018) 腎移植後のQOLとストレスとの関連. 第39回日本看護科学学会学術集会, 松山, 12月.

山中 龍也

研究分野：臨床腫瘍学，臨床健康科学

研究活動

論文

- 1) Takashima Y, Kawaguchi A, Kanayama T, Hayano A, Yamanaka R (2018): Correlation between lower balance of Th2 helper T-cells and expression of PD-L1/PD-1 axis genes enables prognostic prediction in patients with glioblastoma. *Oncotarget* 9 (27), 19065-19078.
- 2) Takashima Y, Sasaki Y, Hayano A, Homma J, Fukai J, Iwadate Y, Kajiwara K, Ishizawa S, Hondoh H, Tokino T, Yamanaka R (2018): Target amplicon exome-sequencing identifies promising diagnosis and prognostic markers involved in RTK-RAS and PI3K-AKT signaling as central oncopathways in primary central nervous system lymphoma. *Oncotarget* 9 (44):27471-27486.
- 3) Miyasato Y, Takashima Y, Takeya H, Yano H, Hayano A, Nakagawa T, Makino K, Takeya M, Yamanaka R, Komohara Y (2018): The expression of PD-1 ligands and IDO1 by macrophages/microglia in primary central nervous system lymphoma. *Journal of Clinical and Experimental Hematopathology* 58 (2):95-101.
- 4) Yamanaka R, Hayano A, Kanayama T (2018): Radiation-induced gliomas: A comprehensive review and meta-analysis. *Neurosurg Rev* 41 (3):719-731.

- 5) Yamada C, Iwawaki Y, Harada K, Fukui M, Morimoto M, Yamanaka R (2018): Frequency and risk factors for subsyndromal delirium in an intensive care unit. *Intensive Crit Care Nurs* 47:15-22.
- 6) Tamura S, Sakaguchi K, Yamanaka R. (2019) : Concerns and return to work in patients with breast cancer receiving outpatient chemotherapy: A pilot study. *Asia Pac J Oncol Nurs* 6 (2):187-192.
- 7) Takashima Y, Kawaguchi A, Iwadate Y, Hondoh H, Fukai J, Kajiwara K, Hayano A, Yamanaka R. (2019) : MicroRNA signature constituted of miR-30d, miR-93, and miR-181b is a promising prognostic marker in primary central nervous system lymphoma. *PLoS One* 14 (1):e0210400.
- 8) Hayano A, Takashima Y, Yamanaka R. (2019) : Cell-type specific sensitivity of bortezomib in the methotrexate-resistant primary central nervous system lymphoma cells. *Int J Clin Oncol* 24 (9):1020-1029.
- 9) Takashima Y, Kawaguchi A, Hayano A, Yamanaka R. (2019) : CD276 and the gene signature composed of GATA3 and LGALS3 enable prognosis prediction of glioblastoma. *PLoS One* 14 (5):e0216825.
- 10) Takashima Y, Kawaguchi A, Sato R, Yoshida K, Hayano A, Homma J, Fukai J, Iwadate Y, Kajiwara K, Ishizawa S, Hondoh H, Nakano M, Ogawa S, Tashiro K, Yamanaka R. (2019) : Differential expression of individual transcript variants of PD-1 and PD-L2 genes on Th-1/Th-2 status is guaranteed for prognosis prediction in PCNSL. *Sci Report* 9 (1):10004.
- 11) Yamanaka R, Hayano, Takashima Y (2019): Trilateral retinoblastoma: a systematic review of 211 cases. *Neurosurg Rev* 42 (1):39-48.
- 12) Takashima Y, Yoshimura T, Kano Y, Hayano A, Hondoh H, Ikenaka K, Yamanaka R. (2019) : Differential expression of N-linked oligosaccharides in methotrexate-resistant primary central nervous system lymphoma cells. *BMC Cancer* 19:910.
- 13) 大北沙由莉、山中 龍也 (2018) : 足浴のリラクセーション効果に関する文献レビュー . 京都府立医科大学看護学科紀要 28: 55-60.

学会発表

(国際学会)

- 14) Tamura S, Hayama Y, Mitsuki S, Sakaguchi K, Yamanaka R. (2018) : Relationship Between Stress and Saliva Biomarkers in Breast Cancer Patients Receiving Outpatient Chemotherapy The Asian Conference on Psychology & The Behavioral Sciences. Kobe, March.

(国内学会)

- 15) 高島康郎、佐々木泰史、早野あづさ、本間順平、深井順也、岩立康男、梶原浩司、石澤伸、本道洋昭、時野隆至、山中龍也 (2018) : 中枢神経系原発悪性リンパ腫における Ion Reporter エクソームシーケンシングによる分子マーカー候補の同定 . 第 77 回日本癌学会学術集会, 大阪市, 9 月 .
- 16) 早野あづさ、高島康郎、山中龍也 (2018) : メトトレキサート耐性中枢神経原発悪性リンパ腫細胞株の樹立およびボルテゾミブ感受性の検討 . 第 77 回日本癌学会学術集会, 大阪市, 9 月 .
- 17) 塚久美子、岩脇陽子、滝下幸栄、越智幾世、河野留美、金沢元洪、石川剛、田口哲也、山中龍也 (2018) : 外来化学療法を受けているがん患者の就労別の気付きとストレス . 第 58 回日本癌治療学会学術集会, 横浜市, 10 月 .
- 18) 高島 康郎、吉村 武、加納 雄一郎、早野 あづさ、本道 洋昭、池中 一裕、山中 龍也 (2018) : メソトレキサート耐性中枢神経系原発悪性リンパ腫細胞株における N 型糖鎖の発現解析 . 第 41 回日本分子生物学会年会, 横浜市, 11 月 .

志澤 美保

研究分野：地域看護学

研究活動：

論文

- 1) 志澤美保、義村さや香、趙朔、十一元三、星野明子、桂 敏樹 (2018) : 幼児期の食行動に関連する要因の研究：自閉症的傾向、感覚特性および育児環境に焦点をあてて、日本公衆衛生学雑誌, 65 (8), 411-419.
- 2) 志澤美保 (2018) : 特集「看護学教育の可能性」地域包括ケアシステムを支える看護人材の育成, 京都府立医大

雑誌, 127 (12), 773-780.

- 3) 中川智子、星野明子、志澤美保、桂敏樹 (2018) : 幼児を育てる母親の養育態度の特徴と育児感情との関連, 小児保健研究, 77 (5), 469-475.
- 4) Katsura, T., Abe, N., Komata, M., Ogura, M., Ishikawa, N., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K., Yokoyama, E., Hara, M. (2018): The relationship between the houseboundness and frailty of community-dwelling elderly persons. *J Rural Med.* 13 (2):141-150.
- 5) 桂 敏樹, 古俣理子, 小倉真衣, 石川信仁, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗 (2018): 地域閉じこもり高齢者におけるソーシャルキャピタルとフレイルとの関連, 日本農村医学会雑誌, 67, 457-466.
- 6) Fujimoto, M., Katsura, T., Shizawa, M., Hoshino, A., Usui, K., Yokoyama, E., Hara, M. (2018): A Cohort Study on Elderly Individuals Newly Certified to Require Long-term Care : Comparison of Rates of Care-needs Certifications between Basic Checklist Respondents/Specific Health Examinees and Non-respondents/Non-examinees of 37,000 Elderlies in a City, *Journal of Rural Medicine*, 13 : 7-10.

学会発表

(国際学会)

- 7) Otsuka, Y., Shizawa, M., Sato, A., Itakura, S. (2018) : Executive Functions Involved in Affective Theory-of-Mind in the Elderly, 59th Annual Meeting of the Psychonomic Society, New Orleans, Louisiana, USA.
- 8) Ishikawa, N., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K., Katsura, T. (2018) : Active lifestyles related to well-being of elderly Japanese in a healthy city aiming at successful aging, The 20th Congress of the International Association of Rural Health and Medicine, Tokyo, Japan, Nov.
- 9) Ogura, M., Katsura, T., Sato-Komata, M., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K. (2018) : Correlation between social isolation and physical, mental, social frailty of community-resided elderlies in a rural community, Japan, The Congress of the International Association of Rural Health and Medicine, Tokyo, Japan, Nov.
- 10) Katsura, T., Ogura, M., Sato-Komata, M., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K. (2018): Health promotion factors related to QOL of community-resided elderlies in a rural community, Japan, The Congress of the International Association of Rural Health and Medicine, Tokyo, Japan, Nov.

(国内学会)

- 11) 大塚結喜、志澤美保、佐藤鮎美、板倉昭二 (2018) : 高齢者の心の理論に関わる実行系機能の検討, 日本心理学会第82回大会, 仙台市, 9月.
- 12) 志澤美保、義村さや香、趙朔、十一元三、星野明子、桂敏樹 (2018) : 幼児期の子供の食行動と養育環境との関連, 第77回日本公衆衛生学会総会, 郡山市, 10月.
- 13) 石川信仁、小倉真衣、古俣理子、志澤美保、臼井香苗、星野明子、桂敏樹 (2018) : 人口が増加する都市の高齢及び青壮年住民のウェルビーイング増進要因の縦断的検討, 第77回日本公衆衛生学会総会, 郡山市, 10月.
- 14) 小倉真衣、古俣理子、石川信仁、星野明子、志澤美保、臼井香苗、桂敏樹 (2018) : 中山間地在住高齢者のQOLに関連するフレイル-社会的孤立の類型化と関連要因, 第77回日本公衆衛生学会総会, 郡山市, 10月.
- 15) 桂敏樹、小倉真衣、古俣理子、石川信仁、星野明子、志澤美保、臼井香苗 (2018) : 中山間地在住高齢者のQOLに関連するフレイル-マッチドペアによる訪問調査, 第77回日本公衆衛生学会総会, 郡山市, 10月.
- 16) 星野明子、志澤美保、臼井香苗、石川信仁、玉井公子、鬼頭敦子、小倉真衣、桂敏樹 (2018) : 都市部高齢化A小学校区における高齢者の孤独感と社会的つながり, 第77回日本公衆衛生学会総会, 郡山市, 10月.
- 17) 玉井公子、星野明子、志澤美保、桂敏樹 (2018) : 行政における中堅前期・後期・管理期保健師の職務満足に関連する要因, 第77回日本公衆衛生学会総会, 郡山市, 10月.
- 18) 桂敏樹、小倉真衣、星野明子、志澤美保、臼井香苗 (2018) : 中山間地域高齢住民におけるQOL及びフレイルに関する研究-社会的孤立者と非社会的孤立者の比較-, 第67回日本農村医学会学術総会, 東京, 10月.
- 19) 小倉真衣、桂敏樹、星野明子、志澤美保、臼井香苗 (2018) : 中山間地域社会的孤立者の人付き合い選択の違いによる新たな類型化とコレスポネンス分析による特徴の検討, 第67回日本農村医学会学術総会, 東京, 10月.
- 20) 石川信仁、桂敏樹、星野明子、志澤美保、臼井香苗 (2018) : 健康なまちづくりにおける青・壮年期順民のウェル

ビーイングとライフスタイルおよびソーシャルキャピタルの関連, 第 67 回日本農村医学会学術総会, 東京, 10 月.

その他

(研究発表)

- 21) 今井ゆかり, 森脇まゆみ, 大秦恵子, 迫拓也, 松見瞳, 飯野菜摘, 志澤美保 (2018): 病棟看護師の退院支援の質向上にむけた取り組み～退院支援チェックリストを用いた退院調整の効果～, 平成 30 年度京都府立医科大学看護研究交流会, 京都市, 10 月.

滝下 幸栄

研究分野: 基礎看護学、看護教育学

研究活動:

論文

- 1) 滝下幸栄, 南田喜久美, 山川京子 (2019): 急性期医療施設における看護補助者の業務課題に関する質的検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 28:33-41.
- 2) 山本裕子, 滝下幸栄, 岩脇陽子 (2019): 看護専門学校教員の生涯学習に関する文献検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 28: 49-54.
- 3) 室田昌子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 光本かおり, 中村順子, 松岡知子 (2019): 退院支援事例をアセスメントする学習を取り入れた成人看護学実習の効果, 京都府立医科大学看護学科紀要 28: 43-48.
- 4) 春木美香, 宇佐美礼加, 綱分淳子, 一色麻衣, 小東紀子, 滝下幸栄 (2019): 腎移植術後新規糖尿病 (new-onset diabetes after transplantation:NODAT) を発症した患者の自己管理に向けた効果的な指導内容に関する研究, 京都府立医科大学附属病院看護部看護研究論文集, 2017:7-11.
- 5) 山本容子, 原田清美, 滝下幸栄, 室田昌子, 西内由香里, 岩脇陽子 (2019): The Health Action Process Approach (HAPA) 理論を用いた新人看護師の手指衛生認知尺度の開発, 日本環境感染学会誌, 34 (1): 55-61.
- 6) Yamamoto, Y., Harada, K., Murota, M., Takishita, Y., Iwawaki, Y., Matsuoka, T., Nishiuchi, Y., Ibayashi, T., Matsumoto, K. (2018): Correlation between Alcohol-Based Handrub Consumption and Adherence to Hand Hygiene Protocols in Individual Nurses, International Archives of Nursing and Health Care, 4:111.

学会発表

- 6) 宇佐美礼加, 春木美香, 綱分淳子, 一色麻衣, 小東紀子, 滝下幸栄 (2019): 腎移植後新規糖尿病患者の効果的な指導内容に関する研究, 第 52 回日本臨床腎移植学会学術集会、大阪市、2 月
- 7) 塚久美子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 越智幾世, 河野留美, 金沢元洪, 石川剛, 田口哲也, 山中龍也 (2018): 外来化学療法を受けているがん患者の就労形態別の気がかりとストレスコーピング, 第 56 回日本癌治療学会学術集会、横浜市、10 月

原田 清美

研究分野: 小児看護学、看護栄養学

研究活動:

論文

- 1) 山本容子, 原田清美, 滝下幸栄, 室田昌子, 西内由香里, 岩脇陽子 (2019): The Health Action Process Approach (HAPA) 理論を用いた新人看護師の手指衛生認知尺度の開発, 日本環境感染学会誌, 34 (1): 55-61.
- 2) Fukuda S, Tanaka Y, Harada K, Saruwatari A, Kitaoka K, Odani K, Aoi W, Wada S, Oguni T, Asano H, Hagiwara N, Higashi A: (2019) Male infants born to older pregnant women are affected by maternal physique at the beginning of the pregnancy through birth until 18 months of age, Journal of Nutritional Science and Vitaminology 65 (2) 123-131.
- 3) Yamamoto Y, Harada K, Murota M, Takishita Y, Iwawaki Y, Matsuoka T, Nishiguchi Y, Ibayashi T and Matsumoto K, (2019): Correlation between Alcohol-Based Handrub Consumption and Adherence to Hand Hygiene Protocols in Individual Nurses, International Archives of Nursing and Health Care, DOI:

10.23937/2469-5823/1510111.

学会発表

(国際学会)

- 4) Harada k, Sekido K (2018): Actual conditions of cachectic cancer patients who are receiving outpatient chemotherapy in Japan, MASCC/ISOO 2018 Annual Meeting on Supportive Care in cancer, Vienna Austria, June.
- 5) Sekido K, Harada K, Tsutsumi K, Uemura S, Takeichi H and Sekido H. (2018): A literature review on support for eating habits of patients with cancer in Japan, MASCC/ISOO 2018 Annual Meeting on Supportive Care in Cancer, Vienna Austria, June.
- 6) Sekido K, Harada K. (2018): Associations between nursing students' dietary habits and awareness of patients after practical training on feeding assistance, TCCN 2nd SWS, Tokushima, Japan, August.
- 7) Sekido K, Harada K. (2018): Associations between nursing students' dietary habits and their awareness of patients who need feeding assistance after role-playing activity, TCCN 2nd SWS, Tokushima, Japan, August.
- 8) Harada K, Sekido K. (2019): Factors that affect low serum zinc levels in cancer patients receiving outpatient chemotherapy, The 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS), Singapore, January.

(国内学会)

- 9) 原田清美, 關戸啓子 (2018): 外来化学療法中のがん患者が抱える味覚障害に影響する要因, 第44回日本看護研究学会学術集会, 熊本, 8月.
- 10) 原田清美, 關戸啓子, 山本容子 (2018): 看護学生の口腔ケアで大切にすべきことへの認識の変化－演習実施前後を比較して－, 第28回日本看護学教育学会学術集会, 横浜, 8月.
- 11) 原田清美, 關戸啓子 (2018): 外来化学療法中のがん患者における疾患別悪液質の現状 第38回日本看護科学学会学術集会, 愛媛, 12月.
- 12) 原田清美, 關戸啓子 (2019): 外来化学療法中の消化器がん患者における栄養状態の実態調査－再発・進行期にある患者に焦点をあてて－, 第33回日本がん看護学会学術集会, 福岡, 2月.

室田 昌子

研究分野: 成人看護学, 看護技術, 看護教育学, 精神看護学

研究活動:

論文

- 1) 室田昌子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 光本おかり, 中村順子, 松岡知子 (2018): 退院支援事例をアセスメントする学習を取り入れた成人看護学実習の効果, 京都府立医科大学看護学科紀要, 28:43-48.
- 2) Yamamoto Y, Harada K., Murota M., Takishita Y., Iwawaki Y, Matsuoka T, Nishiuchi Y, Ibayashi T, Matsumoto K, (2018): Correlation between Alcohol-Based Handrub Consumption and Adherence to Hand Hygiene Protocols in Individual Nurses, International Archives of Nursing and Health Care, OPEN ACCESS, 4:111.
- 3) 山本容子, 原田清美, 滝下幸栄, 室田昌子, 西内由香里, 岩脇陽子 (2019): The Health Action Process Approach (HAPA) 理論を用いた新人看護師の手指衛生認知尺度の開発, 日本環境感染学会誌, 34 (1): 55-61.

学会発表

(国内学会)

- 4) 井林寿恵, 岩脇陽子, 室田昌子, 森本昌史 (2018): 腎移植後患者のQOLと移植後ストレスとの関連, 第38回日本看護科学学会学術集会, 愛媛, 12月.

毛利 貴子

研究分野: 在宅看護学, 臨床看護学

研究活動:

論文

- 1) Mouri, T., Naito, T., Morikawa, A., Tatematsu, N., Miura, S., Okayama, T., Omae, K., and Takayama, K. (2018) : Promotion of Behavioral Change and the Impact on Quality of Life in Elderly Patients with Advanced Cancer: A Physical Activity Intervention of the Multimodal Nutrition and Exercise Treatment for Advanced Cancer Program. *Asia Pac J Oncol Nurs*. 2018 Oct-Dec;5 (4):383-390. doi: 10.4103/apjon.apjon_21_18.
- 2) Naito, T., Mitsunaga, S., Miura, S., Tatematsu, N., Inano, T., Mouri, T., Tsuji, T., Higashiguchi, T., Inui, A., Okayama, T., Yamaguchi, T., Morikawa, A., Mori, N., Takahashi, T., Strasser, F., Omae, K., Mori, K., Takayama, K. (2018) : Feasibility of early multimodal interventions for elderly patients with advanced pancreatic and non-small-cell lung cancer. *J Cachexia Sarcopenia Muscle*. 2019 Feb;10 (1):73-83. doi: 10.1002/jcsm.12351. Epub 2018 Oct 18.
- 3) Miura, S., Naito, T., Mitsunaga, S., Omae, K., Mori, K., Inano, T., Yamaguchi, T., Tatematsu, N., Okayama, T., Morikawa, A., Mouri, T., Tanaka, H., Kimura, M., Imai, H., Mizukami, T., Imoto, A., Kondoh, C., Shiotsu, S., Okuyama, H., Ueno, M., Takahashi, T., Tsuji, T., Aragane, H., Inui, A., Higashiguchi, T., and Takayama, K. (2019) : A randomized phase II study of nutritional and exercise treatment for elderly patients with advanced non-small cell lung or pancreatic cancer: the NEXTAC-TWO study protocol. *BMC Cancer*. 2019 May 31;19 (1):528. doi: 10.1186/s12885-019-5762-6.
- 4) 今戸美奈子, 竹川幸恵, 森本美智子, 河田照絵, 池田由紀, 松本麻里, 本城綾子, 毛利貴子 (2018) : 慢性呼吸器疾患患者が行う息切れに対するマネジメント法の実態. *日本呼吸ケア・リハビリテーション学会*, 27 (2), 168-173.
- 5) 横田優, 川邊とき, 徳弘優花, 松本恵子, 西内由香里, 毛利貴子, 知念良顕, 廣山晴美, 岩瀬広哉 (2017) : CLA-BSI 発生率低減に向けて 中心静脈カテーテル管理の実態調査から. *京都府立医科大学附属病院看護部看護研究論文集* 2015. 67-76.
- 6) 毛利貴子, 有本太一郎, 棟近麻衣, 松本雅美, 大槻まなみ, 梅本万視, 外川佳美, 浅葉有紀, 大久保茜 (2015) : 呼吸器内科外来における包括的呼吸リハビリテーションの試み 多職種による呼吸教室・小集団栄養教育の実践 *京都府立医科大学雑誌*, 124 (5), 341-346.

学会発表

(国際学会)

- 7) Mouri, T., Hatamochi, C. (2017): Evaluation of an Intervention Program for Dietary Behavior Change in Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease. *TNMC & WANS International Nursing Research Conference*. Bangkok, Thailand, October.
- 8) Hatamochi, C., Yabushita, Y., Nakayama, M., Tanaka, K., Nakamura, Y. and Mouri, T. (2017): Networking System of Certified Nurse Specialists within Community-based Integrated Care Systems: A Basic Survey. *TNMC & WANS International Nursing Research Conference*. Bangkok, Thailand, October.
- 9) Miura, S., Naito, T., Mitsunaga, S., Omae, K., Mori, K., Inano, T., Yamaguchi, T., Mori, N., Tatematsu, N., Okayama, T., Morikawa, A., Mouri, T., Tsuji, T., Aragane, H., Inui, A., Higashiguchi T. and Takayama, K. (2018): A Randomized Phase II study of nutritional and exercise treatment for elderly patients with advanced non-small cell lung or pancreatic cancer: the NEXTAC-TWO study. *American Society of Clinical Oncology Chicago*. June.
- 10) Naito, T., Mitsunaga, S., Miura, S., Tatematsu, N., Inano, T., Mouri, T., Tsuji, T., Higashiguchi, T., Inui, A., Okayama, T., Yamaguchi, T., Morikawa, A., Mori, N., Strasser, F., Omae, K., Mori, K., Takayama, K. (2018): A feasibility study of early multimodal intervention for elderly patients with advanced pancreatic and non-small-cell lung cancer the NEXTAC-ONE study. *Multinational Association of Supportive Care in Cancer (MASCC)*, Vienna.

(国内学会)

- 11) 毛利貴子, 簾持知恵子 (2018): 慢性閉塞性肺疾患患者における食行動とその影響要因の変化 ASE-model を用いた介入プログラムの実践. 第 38 回日本看護科学学会学術集会, 松山, 12 月.

- 12) 毛利貴子, 金子美子, 瀬古友利恵, 西岡直哉, 吉村彰紘, 山本千恵, 張田幸, 千原佑介, 田宮暢代, 山田忠明, 内野順治, 高山浩一 (2018): 肺がん診断前の患者の不安・抑うつ状態と QOL の変化. 第 3 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会, 福岡, 8 月.
- 13) 金子美子, 毛利貴子, 平井聡一, 片山勇輝, 張田幸, 西岡直哉, 大倉直子, 中野貴之, 田宮暢代, 山田忠明, 内野順治, 高山浩一 (2018): 高齢・EGFR 遺伝子変異陰性進行非小細胞肺癌診療の検討. 第 58 回日本呼吸器学会学術講演会, 大阪市, 4 月.
- 14) 杉山美和, 毛利貴子, 立松典篤, 三浦理, 森川歩, 光永修一, 大前勝弘, 盛啓太, 内藤立暁, 高山浩一 (2018): 進行がんを有する高齢者の身体活動の促進が QOL に及ぼす影響. 第 3 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会, 福岡, 8 月.
- 15) 金子美子, 毛利貴子, 河村翔平, 平野しょう子, 田宮暢代, 山田忠明, 内野順治, 高山浩一 (2018): 高齢者 EGFR 陰性・進行非小細胞肺癌の治療選択における予後予測因子の探索. 第 3 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会, 福岡, 8 月.
- 16) 森本美智子, 今戸美奈子, 河田照絵, 毛利貴子, 森菊子, 松本麻里, 池田由紀 (2018): 慢性呼吸器疾患患者の健康関連 QOL に息切れの感覚が及ぼす影響 COPD 患者と IP 患者における検討. 第 12 回日本慢性看護学会学術集会, 東京, 7 月.
- 17) 上原喜美子, 森本美智子, 河田照絵, 毛利貴子, 池田由紀, 竹川幸恵, 今戸美奈子, 本城綾子, 伊藤史, 松本麻里, 森菊子 (2018): COPD 患者が看護師から説明を受けた息切れマネジメント法. 第 12 回日本慢性看護学会学術集会, 東京, 7 月.
- 18) 河田照絵, 森本美智子, 今戸美奈子, 毛利貴子 (2018): 間質性肺炎患者の息切れに対するセルフマネジメントへの取り組みと支援ニーズの実態. 第 7 回日本呼吸器学会学術講演会, 大阪市, 4 月.
- 19) 森本美智子, 河田照絵, 今戸美奈子, 毛利貴子 (2018): 息切れに対するマネジメント法が慢性呼吸器疾患患者の健康関連 QOL に及ぼす影響. 第 7 回日本呼吸器学会学術講演会, 大阪市, 4 月.
- 20) 森菊子, 森本美智子, 河田照絵, 竹川幸恵, 本城綾子, 今戸美奈子, 毛利貴子, 松本麻里, 上原喜美子, 池田由紀, 伊藤史 (2017): 間質性肺炎患者における息切れのマネジメント法の特徴. 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 仙台, 12 月.
- 21) 田中京子, 簗持知恵子, 藪下八重, 中山美由紀, 中村裕美子, 毛利貴子 (2017): 地域包括ケアにむけた専門看護師ネットワークシステム構築のための基礎的調査 専門看護師の活動状況. 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 仙台, 12 月.
- 22) 松本麻里, 森菊子, 森本美智子, 今戸美奈子, 河田照絵, 竹川幸恵, 本城綾子, 伊藤史, 上原喜美子, 毛利貴子, 池田由紀, 長谷佳子 (2017): 息切れのある慢性呼吸器疾患患者が医療者に求める支援ニーズ 全国質問紙調査自由記載の内容分析による検討. 第 11 回日本慢性看護学会学術集会, 佐久市, 7 月.
- 23) 森本美智子, 河田照絵, 今戸美奈子, 竹川幸恵, 本城綾子, 伊藤史, 上原喜美子, 毛利貴子, 松本麻里, 森菊子, 池田由紀, 長谷佳子 (2017): 慢性呼吸器疾患患者の息切れに対するコントロール感尺度における配置不変性の検討 COPD/IP 患者での検討. 第 11 回日本慢性看護学会学術集会, 佐久市, 7 月.
- 24) 毛利貴子, 森菊子, 森本美智子, 長谷佳子, 本城綾子, 竹川幸恵, 今戸美奈子, 伊藤史, 河田照絵, 池田由紀, 松本麻里, 上原喜美子 (2016): 在宅酸素療法・非侵襲的陽圧換気療法を行う慢性呼吸器疾患患者の息切れマネジメント法の実態. 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 東京, 12 月.
- 25) 森菊子, 毛利貴子, 森本美智子, 伊藤史, 河田照絵, 池田由紀, 松本麻里, 上原喜美子, 長谷佳子, 本城綾子, 竹川幸恵, 今戸美奈子 (2016): 慢性呼吸器疾患患者の在宅サービス利用の実態. 第 36 回日本看護科学学会学術集会, 東京, 12 月.
- 26) 竹川幸恵, 今戸美奈子, 森本美智子, 河田照絵, 森菊子, 長谷佳子, 伊藤史, 上原喜美子, 池田由紀, 松本麻里, 小崎綾子, 本城綾子, 毛利貴子 (2016): 慢性呼吸器疾患患者における息切れのマネジメントに関する支援ニーズの実態. 第 26 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 横浜市, 10 月.
- 27) 今戸美奈子, 竹川幸恵, 森本美智子, 河田照絵, 池田由紀, 松本麻里, 小崎綾子, 本城綾子, 毛利貴子, 森菊子, 長谷佳子, 伊藤史, 上原喜美子 (2016): 第 26 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 横浜市, 10 月.

- 28) 本城綾子, 森本美智子, 河田照絵, 池田由紀, 松本麻里, 森菊子, 長谷佳子, 伊藤史, 小崎綾子, 今戸美奈子, 竹川幸恵, 上原喜美子, 毛利貴子 (2016): 研究者と看護実践者が協働して患者ケアに役立つ研究を実施するには 大規模実態調査実施のプロセスから. 第10回日本慢性看護学会学術集会, 東京, 7月.

吉岡 さおり

研究分野: がん看護学, 看護教育学, 看護診断学

研究活動:

著書

- 1) 吉岡さおり (2018): 田村和夫, 荒尾晴恵, 菅野かおり 編, がん患者の症状 まるわかり BOOK, 腹部 腎・泌尿器の症状 排尿症状・尿閉, 310-315, 東京: 照林社.
- 2) 吉岡さおり (2018): 小笠原知枝 編, エンドオブライフケア看護学-基礎と実践-, 第4章-6 アドバンスケアプランニングに関わる現状と今後の取り組み, 53-55, 東京: ヌーヴェルヒロカワ.
- 3) 吉岡さおり (2018): 小笠原知枝 編, エンドオブライフケア看護学-基礎と実践-, 第9章-4 看取りケア, 166-169, 東京: ヌーヴェルヒロカワ.
- 4) 杉田智子, 吉岡さおり (2018): 小笠原知枝 編, エンドオブライフケア看護学-基礎と実践-, 第12章-3 乳がんによる母親の死, 209-214, 東京: ヌーヴェルヒロカワ.
- 5) 吉岡さおり (2018): 小笠原知枝 編, エンドオブライフケア看護学-基礎と実践-, 第14章-5 看取りケア尺度, 250-252, 東京: ヌーヴェルヒロカワ.
- 6) 吉岡さおり (2018): 小笠原知枝 編, エンドオブライフケア看護学-基礎と実践-, 第15章-4 看護師の教育, 283-290, 東京: ヌーヴェルヒロカワ.
- 7) 吉岡さおり (2018): 小笠原知枝 編, エンドオブライフケア看護学-基礎と実践-, 第16章-1 がん看護専門看護師の教育, 292-296, 東京: ヌーヴェルヒロカワ.
- 8) 吉岡さおり (2018): 小笠原知枝 編, エンドオブライフケア看護学-基礎と実践-, 第19章-2 看取りケア実践教育プログラムに基づく教育介入研究, 357-364, 東京: ヌーヴェルヒロカワ.

論文

- 9) 吉岡さおり, 片山はるみ (2018): 終末期がん患者の在宅療養移行支援に対する病棟看護師の役割の認識. 日本看護科学会誌, 38: 133-141.
- 10) 吉岡さおり, 岩脇陽子 (2018): 高度実践看護師としてのがん看護専門看護師教育の展望. 京都府立医科大学雑誌, 127 (12): 781-789.

学会発表

(国際学会)

- 11) Sugita, T., Yoshioka, S., Sakai, M., Tamura, K. & Homma, N. (2018): Attempt to develop an experience-based conversational learning program for nurturing staff to support cancer survivors in their local communities, International Conference on Cancer Nursing (ICCN) 2018, Auckland, New Zealand, September.
- 12) Kajiyama, M., Yoshioka, S., Fukui, T., Okazawa, M. (2019): Nursing observation for "risk for falls" of patients with dementia with Lewy bodies in the dementia-specialized hospital in Japan: analysis of nursing records in electronic medical record, ACENDIO 2019, Falun, Sweden, March.

(国内学会)

- 13) 梶山倫子, 吉岡さおり, 櫻井良子 (2018): 認知症患者の入院時初期計画における「転倒転落リスク状態」の観察・記録の実態と今後の課題, 第24回日本看護診断学会学術大会, 東京, 7月.
- 14) 坂井みさき, 吉岡さおり, 杉田智子 (2019): 緩和ケア病棟看護師の専門的緩和ケア実践能力の実態とその関連要因-看護師の対処能力の側面から, 第33回日本がん看護学会学術集会, 福岡, 2月.

その他

(研究発表)

- 15) 三原真梨, 阪本佑二, 田中美奈子, 三品宏喜, 村山佳那, 井林寿恵, 吉岡さおり (2018): 手術目的で入院している

乳幼児に付き添う母親のストレスとコーピングの実態調査, 平成 30 年度京都府立医科大学看護研究交流会, 京都市, 10 月.

- 16) 吉岡さおり (2018): 終末期がん患者の在宅療養移行支援に対する一般病棟看護師の役割の認識, 平成 30 年度京都府立医科大学看護研究交流会, 京都市, 10 月.

(講演)

- 17) 吉岡さおり (2018): がんサバイバーシップと暮らしのサポート～がんサバイバーシップとは, 平成 30 年度京都府立医科大学公開講座, 京都市, 10 月.

臼井 香苗

研究分野: 地域看護学

研究活動:

著書

- 1) 星 旦二監修 (2018): 保健師国家試験 問題解説, 大阪: メディカ出版.

論文

- 2) 桂 敏樹, 古俣理子, 小倉真衣, 石川信仁, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗 (2018): 地域閉じこもり高齢者におけるソーシャルキャピタルとフレイルとの関連, 日本農村医学会雑誌, 67 (4):457-468.
- 3) Katsura, T., Abe, N., Komata, M., Ogura, M., Ishikawa, N., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K., Yokoyama, E., Hara, M. (2018): The relationship between the houseboundness and frailty of community-dwelling elderly persons. *J Rural Med.* 13 (2):141-150.
- 4) Fujimoto, M., Katsura, T., Shizawa, M., Hoshino, A., Usui, K., Yokoyama, E., Hara, M. (2018): A Cohort Study on Elderly Individuals Newly Certified to Require Long-term Care: Comparison of Rates of Care-needs Certifications between Basic Checklist Respondents/Specific Health Examinees and Non-respondents/Non-examinees of 37,000 Elderlies in a City, *Journal of Rural Medicine*, 13: 7-10.

学会発表

(国際学会)

- 5) Ishikawa, N., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K., Katsura, T. (2018): Active lifestyles related to well-being of elderly Japanese in a healthy city aiming at successful aging, The 20th Congress of the International Association of Rural Health and Medicine, Tokyo, Japan, Nov.
- 6) Ogura, M., Katsura, T., Sato-Komata, M., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K. (2018): Correlation between social isolation and physical, mental, social frailty of community-resided elderlies in a rural community, Japan, The Congress of the International Association of Rural Health and Medicine, Tokyo, Japan, Nov.
- 7) Katsura, T., Ogura, M., Sato-Komata, M., Hoshino, A., Shizawa, M., Usui, K. (2018): Health promotion factors related to QOL of community-resided elderlies in a rural community, Japan, The Congress of the International Association of Rural Health and Medicine, Tokyo, Japan, Nov.

(国内学会)

- 8) 臼井香苗, 星野明子, 桂 敏樹 (2018): 公営住宅における高齢者のコミュニティ・カフェの利用と well-being, 第 77 回日本公衆衛生学会, 郡山市 (*), 10 月.
- 9) 桂 敏樹, 小倉真衣, 古俣理子, 石川信仁, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗 (2018): 中山間地在住高齢者の QOL に関連するフレイル マッチドペアによる訪問調査の分析, 第 77 回日本公衆衛生学会, (*), 10 月.
- 10) 小倉真衣, 古俣理子, 石川信仁, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗, 桂 敏樹 (2018): 中山間地在住高齢者の QOL に関連するフレイル 社会的孤立の類型化と関連要因, 第 77 回日本公衆衛生学会, (*), 10 月.
- 11) 石川信仁, 小倉真衣, 古俣理子, 臼井香苗, 志澤美保, 星野明子, 桂 敏樹 (2018): 人口が増加する都市の高齢及び青壮年住民のウェルビーイング増進要因の縦断的検討, 第 77 回日本公衆衛生学会, (*), 10 月.
- 12) 小倉真衣, 桂 敏樹, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗 (2018): 中山間地域社会的孤立者の人付き合い選択の違いによる新たな類型化とコレスポネンス分析による特徴の検討. 第 67 回日本農村医学会, 東京, 10 月.

- 13) 桂 敏樹, 小倉真衣, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗 (2018): 中山間地域高齢住民における QOL 及びフレイルに関する研究 社会的孤立者と非社会的孤立者の比較. 第 67 回日本農村医学会, 東京, 10 月.
- 14) 石川信仁, 桂 敏樹, 星野明子, 志澤美保, 臼井香苗 (2018): 健康な街づくりにおける青・壮年期住民のウェルビーイングとライフスタイル及びソーシャルキャピタルの関連. 第 67 回日本農村医学会, 東京, 10 月.

占部 美恵

研究分野：精神看護学

研究活動：

学会発表

(国際学会)

- 1) Urabe, M., Narumoto, J. (2018) : The specialized skills in the process of practicing nursing care with consent from people with dementia in Japan, Alzheimer's Association International Conference, Chicago, United States, July.

(国内学会)

- 2) 占部美恵, 福田弘子, 北島謙吾 (2018) : ユマニチュードに関する海外・国内における研究の動向と課題、日本看護研究学会第 44 回学術集会、熊本県熊本市、8 月.
- 3) 福田弘子, 占部美恵, 北島謙吾 (2018) : ユマニチュードの実践が認知症患者・実施者にもたらす効果についての文献検討、日本看護研究学会第 44 回学術集会、熊本県熊本市、8 月.

その他

- 4) Urabe, M., Narumoto, J. (2018) : Specialized skills in the process of practicing nursing care with consent from people with dementia in Japan, Alzheimer's & Dementia, 14 (7) : 557.

岡野 明美

研究分野：地域看護

研究活動：

論文

- 1) 岡野明美, 上野昌江, 大川聡子 (2019): 認知症高齢者に対する地域包括支援センター保健師のコーディネーション実践尺度項目の選定～表面妥当性と内容妥当性の検討～, 大阪府立看護学雑誌, 25 (1) : 77 - 81. (平成 30 年度)

学会発表

(国内学会)

- 2) 岡野明美, 古賀佳代子, 曾我智子, 小林奈緒子, 保母恵, 永井潤子 (2018) : 地域包括支援センター保健師の役割と葛藤, 日本地域看護学会第 21 回学術集会, 岐阜, 8 月
- 3) 仙田寿子, 岡野明美, 小林奈緒子, 曾我智子, 新家静, 光安早織, 室岡真樹, 持田恵理 (2019) : 倫理的課題を含む事例への看護展開～特定妊婦の支援に焦点をあてて～, 第 7 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 山口, 1 月.

越智 幾世

研究分野：成人看護学, がん看護学

研究活動：

著書

- 1) 越智幾世 (2018) : “ どうみる？ どう聞く？ ” ポイントがすぐわかるがん化学療法の副作用 そのまま使って！患者サポートカード, YoRi-SOU がんナーシング, 8 (4) : 35-43.
- 2) 越智幾世 (2018) : がん放射線療法看護認定看護師, JASTRO NEWSLETTER, 130 : 24-25.

論文

- 3) 越智幾世, 岩脇陽子 (2018) CCRT を受けている頭頸部がん患者が口腔ケアを継続するための関連要因, 京都府

立医科大学医学部看護学科紀要, 28:17-24.

学会発表

- 4) 塚久美子, 岩脇陽子, 滝下幸恵, 越智幾世, 河野留美, 金沢元洪, 石川剛, 田口哲也, 山中龍也 (2018): 外来化学療法を受けているがん患者の就労形態別の気がかりとストレスコーピング, 第56回日本癌治療学会学術集会, 神奈川, 10月.

佐伯 良子

研究分野: 成人看護学

研究活動:

論文

- 1) 谷岡由希菜, 田辺実早代, 吉岡美裕, 岩田ちづる, 藤原由美, 佐伯良子 (2019): 独自の蓄尿バック固定用具有用性の検証, 京都府立医科大学付属病院看護部看護研究論文集, 2017, 37-41.

中島 奈美

研究分野: 母性看護学 助産学

研究活動:

論文

- 1) 本宮亜紀, 中田美幸, 木下梨穂, 松岡その子, 高見淳子, 中島奈美 (2018): 授業デザインを用いた業務改善から得られた教育的視点と学び - 業務検討会を分娩連絡対応について行っの気づき -, 京都母性衛生学会誌, 26 (1): 17-22.

学会発表

(国内学会)

- 1) 中島奈美 (2019): 死産で亡くなった児の存在について体験者記述. 第33回日本助産学会学術集会, 福岡, 3月.

馬場口 喜子

研究分野: 小児看護学、看護教育

研究活動: 該当なし

山本 容子

研究分野: 基礎看護学, 看護教育

研究活動:

論文

- 1) Yamamoto, Y., Harada, K., Murota, M., Takishita, Y., Iwawaki, Y., Matsuoka, T., Nishiuchi, Y., Ibayashi, T., Matsumoto, K. (2018): Correlation between Alcohol-Based Handrub Consumption and Adherence to Hand Hygiene Protocols in Individual Nurses, International Archives of Nursing and Health Care, 4:111.
- 2) 山本容子, 原田清美, 滝下幸栄, 室田昌子, 西内由香里, 岩脇陽子 (2019): The Health Action Process Approach (HAPA) 理論を用いた新人看護師の手指衛生認知尺度の開発, 日本環境感染学会誌, 34 (1): 55-61.
- 3) 室田昌子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 光本かおり, 中村順子, 松岡知子 (2018): 退院支援事例をアセスメントする学習を取り入れた成人看護学実習の効果, 京都府立医科大学看護学科紀要, 28:43-48.

学会発表

(国内学会)

- 4) 原田清美, 關戸啓子, 山本容子 (2018): 看護学生の口腔ケアで大切にすべきことへの認識の変化 - 演習実施前後を比較して -, 日本看護学教育学会第28回学術集会, 横浜市, 8月.

その他

- 5) 廣田典子, 鴨島尚美, 谷本レイナ, 川内彩記子, 西内由香里, 知念良顕, 山本容子 (2018): 血液内科における医

師・看護師を対象とした退院支援に関する実態調査，平成30年度京都府立医科大学看護研究交流会，京都市，10月

吉岡 友香子

研究分野：母性看護学・助産学

研究活動：

学会発表

(国内学会)

- 1) 吉岡友香子，植松紗代，和泉美枝，眞鍋えみ子（2019）：有職未婚女性の夜間勤務有無における月経随伴症状と睡眠との関連，第33回日本助産学会学術集会，福岡市，3月。

山口 未久

研究分野：小児看護学

研究活動：

論文

- 1) 山口未久，園田悦代（2018）：重度障害者への在宅ケア提供に対する実態調査—A県における重度訪問介護事業と居宅介護事業の支援内容の比較，総合社会福祉研究，49:in press.
- 2) 山口未久（2018）：DMDの成人移行と在宅療養の現状，BIO Clinica 特集 / 神経・筋難病疾患治療の最前線，33(8):66-69.
- 3) 園田悦代，山口未久，木村美沙紀，荻野奈々，田中直子，柴田由里子，白波瀬由美（2018）：手術に臨む先天性疾患児と母親に対するプレパレーションによる不安軽減のための取り組み，小児看護，41(6):766-771.

その他

- 4) 法橋尚宏，井須孝弘，泉澤真紀，伊藤正恵，太田浩子，岡西幸恵，岡本洋一，賀数勝太，金川治美，清水彩，鈴木智子，竹内千夏，土谷僚太郎，土岐弘美，中口尚始，西本康世，平谷優子，藤澤盛樹，藤森由子，三木佳子，森口由佳子，守屋薫，山口未久（2018）：看護師国試ラピッドスタディ 2019，75-87，神奈川，EDITEX.

筒井 佳澄

研究分野：基礎看護学

研究活動：

論文

- 1) 筒井佳澄（2019）：社会人経験のある新人看護師が職場において受けた支援と求めている支援，修士論文.

学会発表

- 2) 筒井佳澄（2015）：再実習に向けて社会人基礎力を活用した取り組み—行動目標が明確化し成長を促した一事例—，第27回日本看護学校協議会学会，大阪，7月.

福田 弘子

研究分野：精神看護学

研究活動：

学会発表

(国内学会)

- 1) 占部美恵，福田弘子，北島謙吾（2018）：ユマニチュードに関する海外・国内における研究の動向と課題，日本看護研究学会第44回学術集会，熊本，8月.
- 2) 福田弘子，占部美恵，北島謙吾（2018）：ユマニチュードの実践が認知症患者・実施者にもたらす効果についての文献検討，日本看護研究学会第44回学術集会，熊本，8月.

松原 千晴

研究分野：母性看護学・助産学

研究活動：

論文

- 1) 深尾千晴、我部山キヨ子 (2012)：不妊治療を経験した女性の心理に関する文献レビューと研究の方向性—京都母性衛生学会誌, 20 (1) 11-19
- 2) 松原千晴、我部山キヨ子 (2014)：妊産褥婦の抑うつ傾向とストレス対処能力の関連—妊娠末期から産後1ヶ月までの縦断調査—日本助産学会誌, 28 (2), 260-267

学会発表

(国際学会)

- 3) Matsubara, C., Kabeyama, K. (2013): Depression in prenatal and postpartum females following ART, and its relation with the urinary stress markers - A longitudinal survey from the end of pregnancy to one month postpartum -, 9th International Nursing Conference 2013 & 3rd World Academy of Nursing Science, Korea, 9月.

(国内学会)

- 4) 松原千晴、我部山キヨ子 (2013)：妊娠方法別にみた抑うつ傾向とSOC（ストレス対処能力）の関連—産褥早期における横断調査, 第27回日本助産学会学術集会, 石川, 3月
- 5) 松原千晴、我部山キヨ子 (2013)：ART後妊産褥婦の抑うつ傾向と背景因子の関連—妊娠末期から産後1ヶ月までの縦断調査—, 第54回日本母性衛生学会学術集会, 埼玉, 10月
- 6) 松原千晴、我部山キヨ子 (2013)：ART後妊産褥婦のSOCと背景因子の関連—妊娠末期から産後1ヶ月までの縦断調査, 第54回日本母性衛生学会学術集会, 埼玉, 10月
- 7) 松原千晴、我部山キヨ子 (2013)：ART後妊産褥婦の不妊背景（BIT）と抑うつ傾向の関連—妊娠末期から産後1ヶ月までの縦断調査, 第33回日本看護科学学会学術集会, 大阪, 12月
- 8) 松原千晴、我部山キヨ子 (2014)：妊娠方法別にみた尿中ストレス関連物質の推移と抑うつ傾向との関連—妊娠末期から産後1ヶ月までの縦断調査, 第28回日本助産学会学術集会, 長崎, 3月

村上 佳栄子

研究分野：地域看護学

研究活動：該当なし

山田 親代

研究分野：成人看護学

研究活動：

著書

- 1) 任和子監修, 山田親代他 (2018):「どの実習でも使える！」治療別関連図—全身麻酔・手術後の関連図, プチナーズ27 (11):22-25. 東京:照林社

論文

- 2) Yamada, C., Iwawaki, Y., Harada, K., Fukui, M., Morimoto, M., Yamanaka, R. (2018) : Frequency and risk factors for subsyndromal delirium in an intensive care unit, Intensive & Critical Care Nursing, 47 : 15-22.

山本 裕子

研究分野：成人看護学、看護教育学

研究活動：

論文

- 1) 山本裕子, 滝下幸栄, 岩脇陽子 (2018)：看護専門学校教員の生涯学習に関する文献検討, 京都府立医科大学看護

吉田 玉美

研究分野：成人看護学、老年看護学

研究活動：

著書

- 1) 吉田玉美 (2018) : 【どの実習でも使える！よく出会う治療別関連図】 加齢による身体変化の影響の関連図, プチナース, 27 (11), 34-36, 東京, 照林社
- 2) 吉田玉美 (2018) : 【どの実習でも使える！よく出会う治療別関連図】 ステロイド治療中の関連図, プチナース, 27 (11), 33-36, 東京, 照林社
- 3) 吉田玉美 (2018) : 【どの実習でも使える！よく出会う治療別関連図】 高血圧症薬物療法中 (周術期) の関連図, プチナース, 27 (11), 32-36, 東京, 照林社
- 4) 山田親代, 吉田玉美 (2018) : 【どの実習でも使える！よく出会う治療別関連図】 全身麻酔・手術後 (手術直後～約1週間) の関連図, プチナース, 27 (11), 22-25, 東京, 照林社

論文

- 5) Yoshida, T., Hashimoto, M., Kawahara, R., Yamamoto, H., Tanaka, M., Ito, H., Masuda, I., Hosoda, K., Yamamoto, W., Uozumi, R., Morita, S., Fujii, Y., Mimori, T., Nin, K. (2018): Non-obese visceral adiposity is associated with the risk of atherosclerosis in Japanese patients with rheumatoid arthritis: a cross-sectional study, *Rheumatology International*, 38 (9), 1679-1689, doi: 10.1007/s00296-018-4095-0.

その他

(講演)

- 6) 吉田玉美 (2018) : 関節リウマチ患者の内臓脂肪と動脈硬化リスク. 比叡 RA フォーラム, 京都, 9月